

賞

第10回北海道食育推進優良活動表彰 表彰者活動紹介

当麻町 (上川郡当麻町)



未来を創造する当麻の子ども達に農業や食育の体験機会を提供する「田んぼの学校」を町が設置、運営

活動開始年：平成27年（2015年）

取組のきっかけ

食育を通じて子ども達の豊かな心を育むことを目的に、約1.2haの水田に自分たちが植えた稲で給食のお米を賄い、食べる命を育てることで、命のありがたみを学ぶ経験により、米以外の「食」に対する意識を高め、食育を通じて子ども達の豊かな心を育むことを目的に事業を実施。

取組の内容

町内の小中学生が、町内関係機関及び町民ボランティアスタッフのサポートを受け、田植えと稲刈りの体験と成長観察などを総合的に学び、田植え後の昼食は、児童・生徒・関係機関・ボランティアスタッフの参加者全員でおにぎりや豚汁、稲刈りの後にはカレーライスを食べる食体験を組み合わせた取組。

収穫されたお米は、当麻農業協同組合のカントリーエレベーターで随時精米されて、町の給食センターに納品され、町内の幼稚園と小中学校に通う園児・児童・生徒が1年間にわたって給食のごはんとしていただく。

田んぼの学校には、地域農業の歴史展示もあり、食農体験と合わせて、命を尊び、故郷を愛する、心の教育につながっている。



受賞コメント

この度は、わが町が実施する「田んぼの学校」が、このような賞を受賞できたことに際し、関係する学校関係者並びに農業関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

「田んぼの学校」は、未来を創造する当麻の子ども達が、食農教育の体験と地域農業の歴史学習などを通じて、ふるりの農業に対する理解を深め、命を尊び、郷土を愛する、その健全な「心の教育」のため実施しているものです。

今後この取組みが、北海道内のみならず、広く国内に広がりますことを心から祈念し、受賞に際してのコメントとさせていただきます。

当麻町長 村椿 哲朗



村椿町長

